

白神通

～秋田県側白神山地より

岳岱自然観察教育林モリアオガエルの池

令和3年度、今時の新たなスタートを迎えて

- ・今年度も中・大型哺乳類調査を開始
- ・山開きシーズンに突入
- ・令和3年度職員紹介
- ・転出のご挨拶

令和3年6月3日 No.98
藤里森林生態系保全センター

令和3年度、今時の新たなスタートを迎えて

所長 はだけやま とおる
 富山 達

令和3年は、新型コロナウイルス感染症の早期終息に願いを込め新年を迎え、令和3年度は先行きが見えないままでのスタートとなってしまいました。

令和2年度は、「新たな生活様式」による対応を模索しつつも、森林講座やイベントについては見合わせとなり、白神山地をテーマとする森林環境教育について課題が残る1年となりました。

令和3年度については、コロナ終息といった明るいニュースが報じられ、活気が戻るものと期待していましたが、秋田市においては、5月9日に警戒レベルが3から4に引き上げとなり、秋田市以外においてはレベル3といいいながらも、新型コロナの感染状況や変異株の確認などから当センターで計画していた6月の森林教室は延期、各種会議は書面開催やWeb会議へ変更となりました。

「新たな生活様式」、「ウィズコロナ」といった言葉がありますが、当センターにおいても「今出来る事は何か。」「今やるために何が必要か。」「やれないと決めず、やる方法がないか。」を相談し、関係各機関のご意見を聞きながら「新たな森林環境教育」の企画、開催について検討したいと考えています。

森林環境教育の話から始めてしまいましたが、当センターの業務は、藤里森林生態系保全センターといった名称のとおり、令和3年度においても

- 1 貴重な森林生態系の保全管理
- 2 世界遺産地域等の保全のための野生鳥獣被害対策等
- 3 地域や学識経験者、NPO等連携・協同
- 4 地域関係者の意見を聴取する場の設置・運営
- 5 技術等の移転(1～4の取組を進める中で得た知識・経験・技術等の移転、地域関係者等への普及)

といった業務をつかさどっていきます。これらについては、「新しい生活様式」を踏まえたうえで継続的業務として取組を行っていくこととし、4月、5月は、白神山地周辺地域の巡視、中・大型哺乳類調査のセンサーカメラの設置、各巡視管理棟の開放を実施しています。

ご挨拶が遅れましたが、当センターは本年4月1日から職員スナップのとおり新体制でのスタートをきっています。これからのシーズンは、巡視活動や各種調査のため白神山地周辺での活動が活発となりますので、白神山地周辺で東北森林管理局のエクストレイルやロッキーを見かけた際は、人相や雰囲気に関わらず気軽に声をかけてみてください。当センター職員はおそらく「いい人」ばかりなので、きっと笑顔で微笑み返すと思います！！



今年度も中・大型哺乳類調査を開始



カメラを壊したのと同じクマ…？

白神山地では毎年『白神山地世界遺産地域モニタリング計画』に沿ってセンサーカメラによる哺乳類調査を行っています。当センターでは、白神山地周辺の秋田県側国有林に合計30台設置し、4～11月にかけて毎月1回データを回収して、どんな動物が写っているかをカウントしています。

『白神山地世界遺産地域モニタリング計画』の詳細については、『白神山地世界遺産センター西目屋館』のホームページ(<http://tohoku.env.go.jp/nature/shirakami-sanchi/research/monitoring.html>)に、令和2年度に設置したカメラに写っていた動物等の詳細については、当センターのホームページにそれぞれ載っているのので、興味のある方は是非一度ご覧ください。

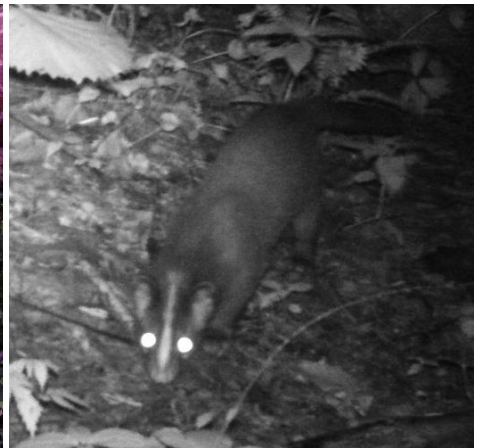
昨年度は、ツキノワグマやカモシカなど大型のものから、リスやヒヨドリなどの小型のものまで、哺乳類と鳥類をあわせると約25種類の生き物がセンサーカメラで撮影されています。カメラの前を高速で横切るだけの場合はブレているものも多いですが、カメラでないと近づけない至近距離の映像も多く(というよりも近すぎてクマにカメラを壊されるなどのハプニングもありました)、大半の動物は気が付いても気にしていないので、自然に近い状態での動物達を見ることができ、白神山地の自然の豊かさを感じられました。

また、この調査はニホンジカやハクビシンの分布状況の把握にも利用しています。平成30年度から言えば、ハクビシンは毎年撮影されており、撮影数に大きな変化はありませんが、ニホンジカに関しては昨年雌が撮影され、今後分布状況にも変化が出てきてまいそうです。

今年度も雪解けの早い八峰町付近から順次カメラを設置し、調査を始めています。結果については来年3月頃には当センターのホームページ等に掲載する予定なので、その頃になりましたら是非ご確認ください。(入山)

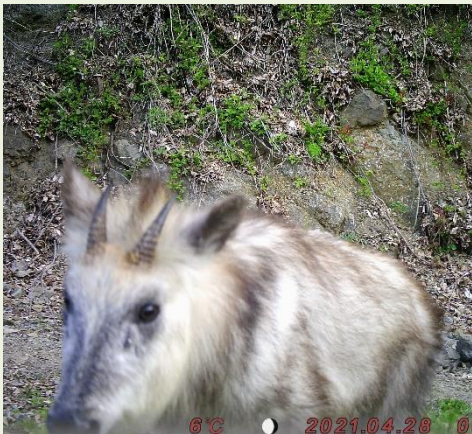


調査開始して初めて撮影された雌シカ(2020年撮影)



重点対策外来種に指定されているハクビシン

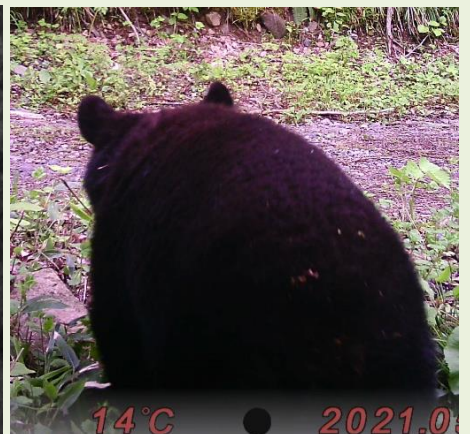
今年度撮影された動物たち



4月28日ニホンカモシカ



4月28日ニホンノウサギ



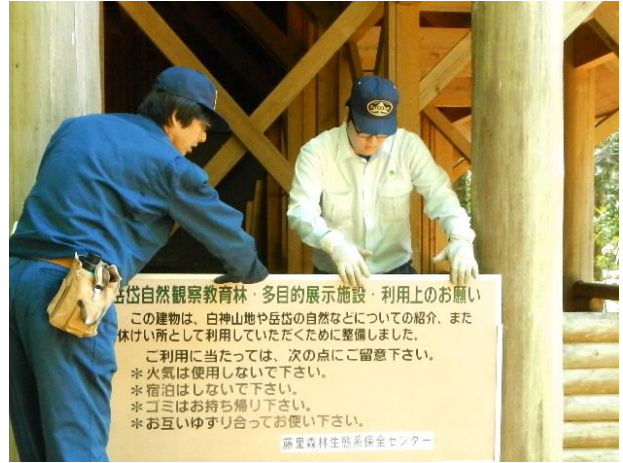
5月11日ツキノワグマ

山開きシーズンに突入

積雪による冬期間の通行止めが解除されはじめ、秋田県側白神山地も新緑の山開きシーズンを迎えています。

岳岱自然観察教育林へと続く県道西目屋二ツ井線が開通したのは5月20日。職員総出で多目的展示施設を整備し、林内を点検した後、入口に「パトロール実施中」ののぼりを設置しました。林内はあたたかな木漏れ日に包まれ、ブナの実生、モリアオガエルの卵、クロサンショウウオの卵も元気に成長中です。今年度もルールを守って安全に、森や生き物に優しいご利用をお願いします。

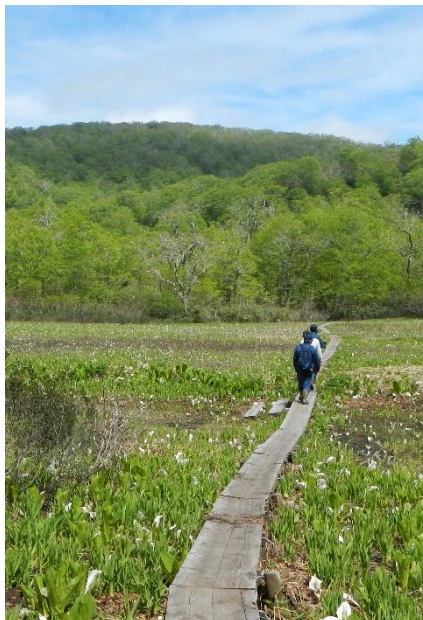
また、岳岱から更に奥の藤里駒ヶ岳登山口もすっかり雪が溶け、田苗代湿原ではミズバショウ、ショウジョウバカマ、エゾノリュウキンカといった春の花々が見頃を迎えていました。これからじめじめした季節になりますが、梅雨の晴れ間に是非気分転換に来てください。(鈴木)



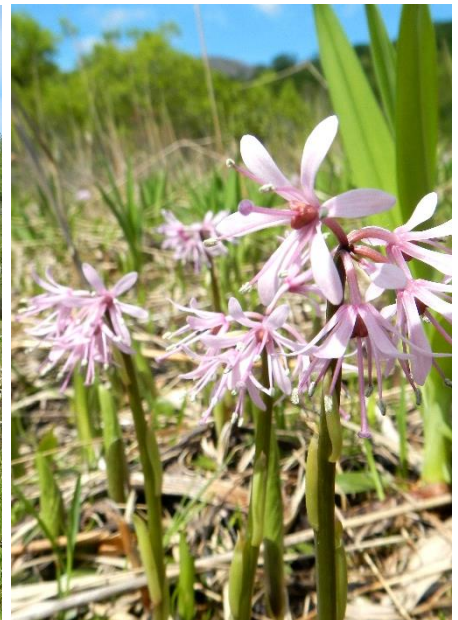
岳岱自然観察教育林・多目的展示施設・利用上のお知らせ
 この建物は、白神山地や岳岱の自然などについての紹介、また休けい所として利用していただくために整備しました。
 ご利用に当たっては、次の点にご留意下さい。
 ＊火気は使用しないで下さい。
 ＊宿泊はしないで下さい。
 ＊ゴミはお持ち帰り下さい。
 ＊お互いゆずり合ってお使い下さい。
 藤里森林生活系保全センター



岳岱自然観察教育林
モリアオガエルの卵



田苗代湿原
木道脇のミズバショウ



田苗代湿原
ショウジョウバカマ

一部通行止め発生

6月3日現在、以下の道路が通行止めとなっております。お越しの際は道路状況をご確認ください。

- × 粕毛林道（小岳登山口へ続く）
落石のため通行止め。解除時期未定。
- × 町道白神二ツ森線
（二ツ森登山口へ続く）
法面崩壊のため、冬期間通行止め解除を6月19日（予定）に延期。

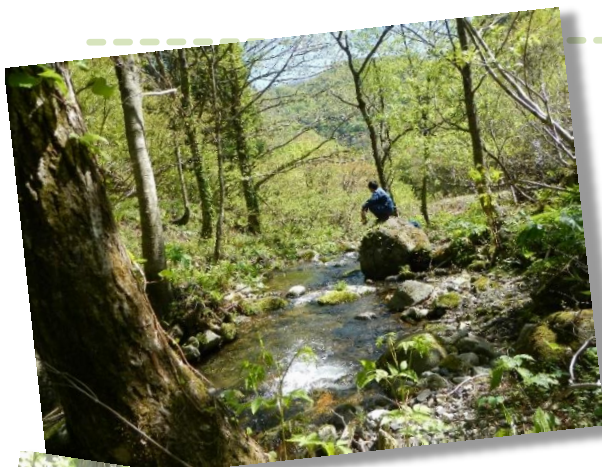
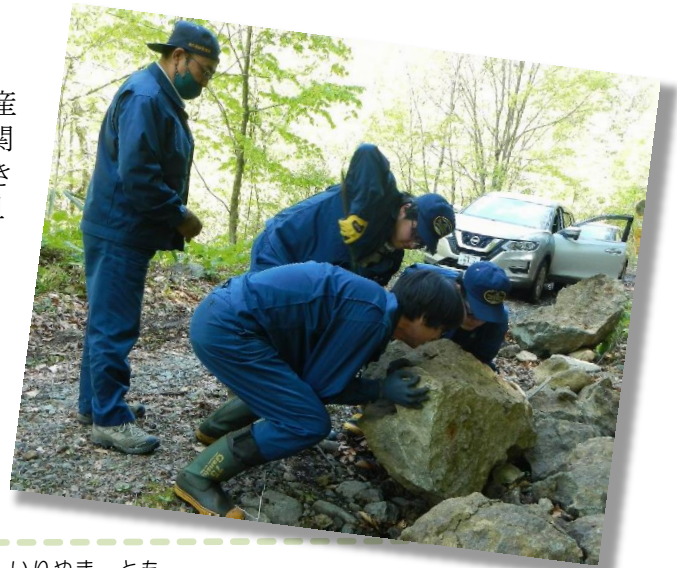


令和3年度職員紹介

生態系管理指導官 やまうち たけふみ 山内 武文

生態系管理指導官の山内です。世界自然遺産白神山地の保全管理に向け、巡視員の皆様や関係機関、関係団体と連携し、指導・助言をいただきながら、より良い巡視活動が実施できるよう取り組んでいきたいと考えております。

雪に閉ざされた白神山地も新緑の入山シーズンを迎え、自然を満喫しに訪れる人・山菜採りに訪れる人などが増えてきました。入山される方はケガ・体調に気をつけ無理をしないよう注意してください。また、マナーを守っていただくようご協力をお願いするとともに、入山者と出会ったときは一声お掛けしますのでよろしくお願いします。



専門官 いりやま とも 入山 友

4月1日付けで山形森林管理署最上支署より参りました入山です。今まで触れてこなかった業務ばかりですが、皆様の力をお借りしながら頑張っていきたいと思えます。また、今までテレビなどで見ただけだった白神山地を楽しんでいこうと思えますので、よろしくお願いします。

一般職員 たにかわ よしき 谷川 麗輝

4月に青森県の下北森林管理署から異動となりました谷川です。世界自然遺産である白神山地に携わる仕事ができるのは、とても貴重な体験で光栄に思います。そのため積極的に現場に出かけて白神山地の生態系を知り尽くし、環境保全のあり方を考えたいです。

ただこの仕事は睡眠不足に細心の注意を払わないといけません。なぜならクマが出てくるからです。どうぞよろしくお願いします。



一般職員 すすき ちひろ 鈴木 千裕

昨年新規採用として当センターに配属になり、社会人2年目を迎えます。総務関係を主に担当しますが、巡視や合同パトロール、野生動物の調査にも積極的に参加したいです。2年目とはいえまだまだ不慣れな仕事が多く、どこか落ち着かない毎日ですが、自分なりに楽しんでいきたいと思えます。よろしくお願いします。



転出のご挨拶

谷藤 忠志（前所長）

令和3年3月31日をもって藤里から離れることとなりました。地名をようやく覚えてくれたの2年間という短い間ではありましたが、白神山地に関する仕事に携わったことは貴重な経験となりました。新任地においても、ここでの経験が生かされたらと思います。白神山地はもうすぐ世界遺産登録30年という節目を迎え、再び国民の関心が高まることと思います。これを機会に沢山の方に白神山地のすばらしさを知っていただき、訪問者が増えてくれればと思います。最後にお世話になった白神山地に関わりのある方々に心から感謝申し上げ、転勤の挨拶といたします。ありがとうございました。



有本 実（前専門官）



当センター在勤中の特に後半2年間は、志の高い同僚にも恵まれてこの誌面やホームページを刷新できたのは…と感じています。読者の皆様、楽しんでいただけましたでしょうか？秋田・青森両県の巡視員やガイド、白神山地世界遺産センター、県自然保護課、自然保護官事務所、森林総研の皆様、取材して下さった新聞記者やTVカメラマンなど報道関係の皆様、北海道大学院生のSさん…数え切れない程の“その道の一流”の方々から数え切れない程の刺激をいただいたお陰で、どうにかモチベーションを維持して白神の保全活動に携わることができました。そんな皆様方と、私の撮影モデルを務めてくれた白神山地の物言わぬ住人達に、心より御礼申し上げます。

前任地の津軽白神森林生態系保全センター時代から合わせて合計6年間+α、特にプライベートで白神山地に入り浸りました。怪しい茸の同定やら深夜の森の撮影やら轢死体の頭蓋骨の標本作りやら何やかや精を出し、俺は一体何を目標しているのかと自問する日々。そんな折、テレワーク中の農水省の旧友から『学生時代から方向性は何も変わっていない。何かを目指すというより、宇宙のように膨張を続けている』というメールを貰い、妙に納得したものです。いつか私の野生生物に関する諸々のスキルを200%出し切っても足りないようなフィールドワークの天職に巡り会えたとき、間髪入れずビッグバンを起こせるように、今は静かに沸々と膨張し続けます。

（発行）林野庁 東北森林管理局 藤里森林生態系保全センター



〒018-3201 秋田県山本郡藤里町藤琴字大関添 24-3

TEL: 0185-79-1003 FAX: 0185-79-1005

<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/huzisato/>

